

中間支援活動助成(基本)事業 実績報告

団体名	(一社)さんぴいす	代表者 名	(職名) 代表理事	(氏名) 河口 紅
事業名	ネットワークを活かした持続可能な中間支援の実践事業			

< 事業実施実績 >

	相談業務 延べ回数/団体数	ネットワークの構築 ・ 情報提供 件数	人材育成 (講座開設等) 延べ参加人数/回数	書類作成指導 件数	その他 (調査研究等) 件数
R 5 実績	6回/41	随時更新	3回開催	5件	1件
R 6 計画	6回/未定	随時発信、更新	3回以上開催	随時	1回
R 6 実績	6回/37	21回 合計40,000通配信	14人/3回	6件	1回

< 効果と成果 >

採択意見にあるように、淡路市に対する中間支援活動については、市内のNPOに対し中間支援活動に関するノウハウを伝え市内の団体が成長してくれ、今年度は本助成事業の創設支援事業にも採択して頂いたことから、淡路市中間支援ネットワークの事務局もNPO法人島くらし淡路さんに引き継いでもらい、当法人としては淡路市中間支援ネットワークの一団体として後方支援に徹しながら更なる成長を見守りながら、完全な自立運営が出来るまでは伴走を続ける体制へと移行することが出来た。

今年度は、県下全域を網羅しているネットワーク組織である「ひょうご子育てコミュニティ」との連携を更に強めることでネットワークによる中間支援の実現を、兵庫県全域で行うことが出来る体制の基盤づくりをおこなった。

また、県下全域を視野に入れるためには、これまで以上にIT(インターネットやSNS、グループウェア)の活用が不可欠となると共に、活動資金の調達についても考えていかなければならないため、クラウドファンディングの活用やInstagramなどのツールを使ったお金のかからない情報発信についても情報収集と検討を開始することが出来た。

< 今後の展望 >

今年度蓄積できたノウハウをもとに、来年度は中間支援分野では無いが自分たちで一度クラウドファンディングもおこない活用ノウハウの蓄積と市民への還元が出来ればと考えている。

また、少子高齢化が進み資源が少ない日本においては、人こそが最大の資源であることから子育て支援の枠を更に広げ人材育成支援についても更に力を入れていきたいと考えている。

具体的には、遠慮・忸度がない日本人気質の改善が不可欠と考え、学びの場における心理的安全性の確保とそれに伴い子どもたちの精神的幸福度を高めるための学びの場を作っていきたいと考えている。

心理的安全性が保たれた社会が出来れば、中間支援といった考え自体が不要なものになってくれると私たちは信じています。

< 収支決算書 >
(収入)

項 目	金 額 (円)
中間支援活動助成金	4 0 0 , 0 0 0
自己資金等	4 , 0 3 9
合 計	4 0 4 , 0 3 9

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直 接 経 費	人件費	3 0 0 , 0 0 0	3 0 0 , 0 0 0
	謝金	1 0 , 0 0 0	1 0 , 0 0 0
	交通費	1 0 , 7 4 0	9 , 9 8 0
	その他 (消耗品費等)	6 , 2 7 5	6 , 0 2 0
	小 計	3 2 7 , 0 1 5	3 2 6 , 0 0 0
間接経費 (一般管理費)		7 7 , 0 2 4	7 4 , 0 0 0
合 計		4 0 4 , 0 3 9	4 0 0 , 0 0 0